光晴会病院化学療法委員会
2024 年 3 月 1 日改訂

パクリタキセル+ベバシズマブ療法

患者番号:　　氏名:　　性別：　　年齢:

がん種（適応）	乳癌		
開始年月日	年　　月　　日		
1 コース期間	28　日間		
体格	身長　　cm　　体重　　kg　　体表面積　　㎡		
嘔気・嘔吐リスク	軽度	制吐剤	グラニセトロンゼリー （+デキサート注 6.6mg）
特記事項 （パクリタキセル）	パクリタキセルアレルギー予防のデキサートは、症状がなければ 半量ずつ減量が可能です。（最低用量：1.65mg1A）		
特記事項 （ベバシズマブ）	※【ベバシズマブの投与時間】 初回 90 分、忍容性があれば 2 回目 60 分、3 回目 30 分への短縮可		

投与薬剤	投与量	投与時間	投与スケジュール			
			Day 1	Day 8	Day 15	Day 22
パクリタキセル	mg（90mg/㎡）	1 時間	●	●	●	×
ベバシズマブ BS	mg（10mg/kg）	※	●	×	●	×

【処方が必要な内服薬】

レスタミン錠（10）5 錠　パクリタキセルの 30 分前
グラニセトロンゼリー2 ㎎　1 包　パクリタキセルの 30 分前

☐HBs 抗原(+) → 消化器内科紹介
☐HBs 抗原(−) → ☐HBs 抗体(−)and HBc 抗体(−)
☐HBs 抗体(+)and/or HBc 抗体(+) → ☐HBV-DNA 定量(−) → 3 ヵ月毎 定量
☐HBV-DNA 定量(+) → 消化器内科紹介

指示医師サイン＿＿＿＿＿＿＿＿